

砂浜の危機！

国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産大学校
生物生産学科 沿岸生態系保全研究室 教授 須田 有輔

前号の第31時限目に引き続き、国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産大学校 生物生産学科の須田教授にご執筆いただきました。今回は砂浜の環境問題についてご紹介いただきます。

第31時限目の「海の寺子屋」で、知られざる砂浜の生態系を紹介しました。今回は、世界の砂浜が直面する深刻な問題のいくつかを紹介します。

●砂の採掘

砂はコンクリートの骨材や工業材料として極めて重要な資源です。世界各国でますます需要が高まり、その獲得のすさまじさは「サンド・ウォー（砂戦争）」と呼ばれています。

●海岸の装甲化

海岸侵食・高潮・津波対策として、護岸、突堤、離岸堤など多くのさまざまな種類の構造物で海岸線が固められ、浜の生物の生息や移動を妨げる原因となっています。装甲化は海と陸の間の生態的なつながりも遮ってしまいます。

●養浜

侵食された海岸に砂を補給して浜を維持する養浜は、ソフトな海岸保全方法として注目されていますが、浜の生物の視点からみると、使用する砂の特性や工法などには改善すべき点が多くあります。

●ごみの漂着と浜の汚染

浜に打ち上げられるプラスチックをはじめ多くのごみは、生物の絡まりや誤飲などの原因となっています。最近では、多量の降雨や高潮による浸水によって、都市部のごみや汚染物質が浜に流れ込むことが新たな問題として懸念されています。

●自動車の走行

世界の各地では浜における自動車の走行が認められた場所が多くありますが、浜の生物や利用者には大きな影響を与えます。



海岸の装甲化



打ち上げられたごみ



浜に刻まれたわだち

この他にも多くの問題があり、状況は国や地域によっても異なりますが、気候変動に伴う海面上昇は問題の深刻さにさらに拍車をかけています。世界の多くの砂浜が危機に晒されていることに、一人一人が関心をもつことが大切です。